

# 次世代 IT システム構築に向けて

## ～ 新たなシステム開発の標準 BPEL ～

主 催 山 形 県

<受講のおすすめ>

### ～ J2EE から BPEL 中心のアーキテクチャへ ～

SOA（サービス指向アーキテクチャ）は、これまでのシステム開発風景を一変します。

設計者は、プログラマーというよりは、ビジネス・コンサルタントに近い職種になる。設計ツール上でソフトウェア部品を配置し、線で結び、大規模な業務フローを定義していく。ツールが扱うのは BPEL（Business Process Execution Language）という業界標準の言語。あらゆる情報システムが Web サービスとして参照され、商用パッケージですら Web サービスの一部品に組み込まれていく。こうした未来を想像できますか？

これまでの J2EE プラットフォームの問題は、各社独自のミドルウェアが壁になりベンダーの異なるパッケージを統合し、調和させる仕組みが無かったことです。これに対し IBM、マイクロソフト、BEA システムズが中核となり、J2EE の上位概念 BPEL を標準化しました。業務の流れを Java 言語でプログラミングすることなくモデリングし、他社の BPEL 実行エンジンへの移植も保証します。既存のパッケージや自社開発システムを連携させる仕組みとして、BPEL 標準に準拠した開発スタイルをいち早く導入することが、ユーザーにとってシステム・ライフ・サイクル・コストを削減する鍵なのです。

これからはアプリケーションサーバやデータベースといった単体製品が注目されるのではなく、Oracle であれば Fusion Middleware、IBM であれば WebSphere など、SOA 製品群サポートが決め手になります。本講演では日本オラクルから講師をお招きし、ユーザにとって真に意味のある"Fusion"(融合)を提供する、未来を先取りするオラクルの SOA 戦略についてご紹介します。

これからの SI ベンダーは業務プロセスを含めた総合技術コンサルティング業態へとシフトしていくことが期待されています。ユーザにとって価値ある情報システムを提供し、良きパートナーとして信頼され、顧客と共に成長していく、サービス業の原点に立ち返るきっかけとして、情報関連企業の多くの皆様にご参加をおすすめします。

### 記

- 1 日 時 平成18年2月16日(木) 15:00～16:30 (1.5時間)
- 2 場 所 山形県産業創造支援センター 多目的ホール  
〒990-2473 山形市松栄一丁目3番8号 (Tel 023-647-8111)
- 3 内 容  
15:00 あいさつ

15:05【第1部】

東北における情報サービス産業の未来

～ TIC (東北ITクラスタイニシアティブ) の活動～

講師 株式会社トライポッドワークス

代表取締役 佐々木 賢一 (SASAKI, Ken-ichi) 氏

15:30【第2部】

次世代 IT システム構築

～ BPEL を使った SOA システム構築～

講師 日本オラクル株式会社

システム営業推進本部 Fusion Middleware 営業部

担当マネージャ 首藤 聡一郎 (SHUTO, Soichiro) 氏

16:30 終了

4 対象者 一般

5 参加費 無料

6 定員 60名程度

7 申し込み 次のいずれかでお申し込みください。

期限：平成18年2月14日(火)

A	電話	山形県産業創造支援センター宛 にお電話下さい。 Tel 023-647-8111
B	ファックス	別紙申込書にご記入の上、送付下さい。 Fax 023-647-8118
C	インターネット	<a href="http://www.aic.pref.yamagata.jp/">http://www.aic.pref.yamagata.jp/</a> 上記URLからお申し込みください。

事務局：山形県産業創造支援センター デザイン・情報課

金内秀志 (KANAUCHI, Shushi) 多田伸吾 (TADA, Shingo)

〒990-2473 山形市松栄1丁目3番8号

(注)本講演は、「山形県オープンシステム研究会」と共同で開催します。

----- キリトリ -----

**BPEL20060216**

【山形県産業情報化リーダー育成研修#11】

次世代 IT システム構築に向けて

～ 新たなシステム開発の標準 BPEL ～

事業所名

\_\_\_\_\_

住所

\_\_\_\_\_

Tel

Fax

氏名	所属部署